

英語科学習指導案

日 時	令和2年10月30日(金) 5校時
場 所	3年2組教室
学 級	3年2組(男子16名、女子14名 計30名)
授業者	教諭 百濟 雅一

1 単元名 Program8 Clean Energy Sources (開隆堂 Sunshine English Course 3)

2 単元について

(1) 生徒について

英語の学習に積極的に取り組む生徒は多い。男女間も仲良く、ペアワークなどには協力的に取り組む、教えあい学習もできる。普段からペアワークを中心に基本文の会話練習やスキット作り、クイズ作成などを行ってきた。今回は関係代名詞を使って有名人の紹介やクイズ、そして簡単な英文を書かせる活動を含め、多くの活動に取り組ませたい。

後置修飾に関わる生徒の理解度は低く、前回の単元テストでは We'll [interview, some fire works fan, visiting] the festival. の語順整序問題の正答率が約 30 %であった。今回扱う関係代名詞 which, that は、それぞれに用法があることで理解に時間がかかると思われる。特に関係代名詞 who については主語を説明する用法の定着が不十分だったため定着に時間をかけて学習させたい。

(2) 教材について

本単元では、風力発電や太陽光発電、地熱発電などの再生可能エネルギーを話題としており、地域のエネルギー問題や自分たちがこれから直面する将来のエネルギー問題について考えるには適した題材と考えられる。

言語材料として関係代名詞(目的格) which, that を取り扱う。前課の Program6 では現在分詞、過去分詞による後置修飾を学習し、Program7 では主格の関係代名詞 who, which, that を学習している。Program8 では which の主格と目的格の違いを理解し、簡単に説明する言い方、別の言い方、更により短い言い方など、用法を丁寧に指導したい。地球環境に与えるエネルギーの在り方や地域におけるエネルギー開発、過去のエネルギー問題についても深く考えさせ、これからの自分たちの生活や生き方を考える良い機会としたい。

(3) 指導について

単元のゴールの活動は、未来エネルギーについて30年後の生活をイメージした紹介文や世界へ向けた環境メッセージなどを伝え合う活動である。本単元を通して、エネルギーについて考えたことや感じたことなどを英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができるようにさせたい。

名詞の説明を後ろから行うことの多い英語では関係代名詞はとても重要である。現在分詞、過去分詞、そして関係代名詞と表現する幅が広がり、単元の目標である人やものについて詳しく説明できるようになることで目標に近づきたい。前置修飾と後置修飾の違い、後置修飾と関係代名詞、先行詞と関係代名詞、関係代名詞節の語順など時間をかけて習得させたい。

4 目標及び評価規準

(1) 単元の目標

友達の見解等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、エネルギー問題について書かれた英文を読み、読んだことをもとに考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

(2) 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 目的格の関係代名詞の用法を理解することができる。 再生可能エネルギーについて考えたことや感じたことを、関係代名詞を用いて伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を用いて、人物や人物以外のものの特徴を伝えることができる。 再生可能エネルギーに関して読んだことについて考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞を用いて人物や人物以外のものについてその特徴を伝えようとする。 再生可能エネルギーに関して読んだことについて考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合おうとしている。

(3) 指導と評価の計画

時間	ねらい (■), 主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1 (本 時)	<ul style="list-style-type: none"> ■単元の目標を理解するとともに、目的格の関係代名詞 which を用いて、物について詳しく説明できる。 ①誰が何をやるものか、ペアで伝え合う。 ②自己目標を設定する。 				第2時から第5時の学習の振り返りは適宜行わせる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ■風力発電の効果について内容を理解することができる。 ①教科書の内容を理解して、関係代名詞の使い方を理解する。 ②風力発電の効果について、ペアで伝え合う。 				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> う。動の記録に残す評価は行わない。ねらいに即して生徒の活動状況を確認しているだけにならないよう十分留意する。 </div>
3	<ul style="list-style-type: none"> ■目的格の関係代名詞 that を用いて、人や物について詳しく説明できる。 ①写真の人物が何をしているか、詳しく説明できる。 ②写真の人物が何をしているか、ペアで伝え合う。 				
4	<ul style="list-style-type: none"> ■太陽光発電の用途や利点について内容を理解することができる。 ①太陽光発電の写真を用いて、事実などを整理しながらペアで伝えあう。 ②話した内容を踏まえて、太陽光発電を説明する文章を書く。 				
5	<ul style="list-style-type: none"> ■目的格の関係代名詞が省略できることを理解し、別の言い方ができる。 ①写真を用いて、事実などを整理しながらペアで伝えあう。 ②話した内容を踏まえて、説明する文章を書く。 				

6	<p>■再生可能エネルギーについて考え、未来エネルギーの問題に目を向けた考えをまとめる。</p> <p>①教科書の本文を通して関係代名詞の使い方を知る。</p> <p>②世の中のエネルギー問題</p>	○	○		
7	<p>■未来エネルギーについての発表、交流</p> <p>①未来エネルギーについて、まとまりのある文を書く。</p> <p>②自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</p>		○		
後日	ペーパーテストやワークシート	○	○		

5 本時の指導

(1) 指導目標

目的格の関係代名詞(**which**)を用いて、有名な人物や人物以外のものについて説明することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	学習内容	主体的・協働的に学ぶための工夫	指導上の留意点 ○留意点 ●評価
導入 10分	<p>1 2分前学習</p> <p>2 見通し</p> <p>3 あいさつ</p> <p>4 聞く、考える。</p> <p>5 BDを聞く、話す、考える。</p>	<p>Topic or Word</p> <p>Today's menu</p> <p>Greeting</p> <p>マイクと太郎の会話から Pro 8のゴールを考える。</p> <p>ゴールの確認。</p>	<p>・自主的な活動</p> <p>・ペア活動</p>	<p>○机間指導</p> <p>○考えさせる</p> <p>・個人目標確認●発表</p> <p>○暗記させる</p>
展開 30分	<p>6 BDの練習</p> <p>7 話す活動</p> <p>8 考えて書く活動</p> <p>9・ゲーム的な活動</p> <p>・ペアで話す活動</p> <p>・ペアで考えて書く活動</p>	<p>BD</p> <p>Practice 1 例文で話す活動からペアで話す活動へ。</p> <p>Practice 2 説明文を考えて書く活動。</p> <p>Practice 3 情報から英文を作る</p>	<p>・ペアワーク</p> <p>・自主的な場面から協働的場面へ</p> <p>・言語活動</p> <p>・関係代名詞の特徴を理解</p> <p>・協働的な場面</p>	<p>●発表</p> <p>・生徒の発表で定着確認。</p> <p>・取り組みから主体性を確認。</p> <p>・関係代名詞の構成を理解できるようにする。</p> <p>・生徒の発表で定着確認。</p>
終末 10分	<p>10 振り返り</p> <p>11 次時の確認</p>	<p>ワークシート</p> <p>次回は教科書本文へ</p>	<p>・主体的な活動</p>	<p>・達成できたか確認</p> <p>・机間指導で単元の個人目標確認。</p>

Name _____

Program 8 We will learn _____ sources .



Today's goal

Practice 1 speak



(1) I want a computer which
()

(2) I want a computer which
()

Practice 2 think

I want a phone which

We have a phone which



I want a phone which
()



We have a phone which
()



We have a phone which
()

which I can carry around

which we use at home

which we can use outside

Program 8 では、エネルギーについて学習していきます。

エネルギーについて どんなことを考えていきたいですか。

・
・

~~~~~  
goal check

1 Write in one sentence in Japanese.

【 Example 】 I know the temple. Yoshimitsu built it in 1397.  
( 私は、義光が 1397 年に建てた寺を知っています。 )

(1) This is a phone. I bought it ( the phone ) at au shop last year.  
( これは、 電話です。 )

(2) This is a kaiten-zushi. Shiraiishi Yoshiaki opened it in Osaka in 1958.  
( )

2 To one sentence from two sentences in English.

【 Example 】  
He ate McDonald's potatoes . Everyone likes McDonald's potatoes.  
⇒ He ate McDonald's potatoes which everyone likes .

(1) This is some money. A child gets some money as a New Year present.  
\_\_\_\_\_

3 Write in one sentence in Japanese.

(1) I'm making small windmills which really work. (レベル4)

( \_\_\_\_\_ )

4 Make a sentence.

(1) This is ○○○○ which □□□□△△△ in ◇◇◇◇

( \_\_\_\_\_ )

|        |        |           |               |
|--------|--------|-----------|---------------|
| 振り返り   | ・今日の授業 | 積極的に取り組んだ | ( 5 4 3 2 1 ) |
|        |        | 授業が理解できた  | ( 5 4 3 2 1 ) |
| ・学んだこと | (      |           | )             |